

今日はいいい日

朝、用事で正面の門扉をあけたら  
向うからお母さんと手をつないで登園するMちゃんの姿  
元気に「おはよう！」と声をかけると  
2歳児らしく恥ずかしそうにはにかむ笑顔  
私は少し気を利かせて門扉を広くあげ直して  
「こちらからどうぞ！」という  
「あっち！」と、小さな通用口の方を指差すMちゃん  
横でお母さんが「すみませ〜ん」と笑う  
Mちゃんは私の着任まもなくのころ入園したのでまだ1年余りだが  
つくし保育園がすでに生活の大切な一部になっていることを  
このとき教えてくれているように感じた。  
今日もこれから、大好きなお母さんを離れて友だちや保育士の待つ場所へ  
楽しみだけど、少し不安…。その気持ちの切り替えを支えてくれるのは  
いつもと同じように手をつないで、いつもと同じ扉から入り  
いつもと同じ道を通って、いつもと同じみんなのいるお部屋へ行くこと  
それらの、変わらぬ小さな一つ一つが幼い心を守ってしてくれる  
「あっち！」。それは、つくしの生活がしっかり根付いているよ、という合図。  
「今日はいいい日だぁ」。心でつぶやきながら、親子の後ろ姿を見送った。

同じ日の夕方、ピンぼ〜ん。牧師館のベルが鳴った。  
開けると、年長の男の子。  
モジモジしながら、一枚の紙を手渡してくれた。  
そこには一生懸命描いた人間の絵。「これ、ぼく？」「うん」  
彼とは先日の雪遊び、一台のソリに二人乗りで何度も何度も滑ったのだった。  
それを思いだして改めて見ると、絵の中の人物は  
ソリに寝そべるように、少しかしげて描かれている。  
「わぁ、ありがとう」。お礼をいいながら、心の中で叫んだ。  
「今日はいいい日だぁ〜」

ふとした瞬間、たくさんの幸せをプレゼントしてくれる。  
なんて素敵な、つくしの子どもたち！

(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいが教会より>

毎週日曜日午前10:30より、どなたも参加できる礼拝があります。  
聖書のメッセージ、心暖まる讃美歌。卒・在園生、保護者様もぜひいちど  
主の復活を祝うイースター礼拝は4月1日(日)午前10:30~  
エッグハンティング、春を彩るちらしずしも。